



# イノシシの現状と対策について



## イノシシの現状について

金沢市の中山間地域では、過疎化・高齢化が進行し、耕作放棄地や放置竹林等が増加しており、これに伴い、イノシシによる農作物被害が年々拡大しています。イノシシは、高い繁殖能力を持っていることから、今後も被害の拡大が懸念されています。

## イノシシの対策について

これまでも、電気柵の導入や檻の設置などにより、イノシシ対策を行ってきました。しかし、更なる被害の拡大が危惧されていることから、今後は、集落全体で被害防止に向けた対策を行う必要があります。



# イノシシについて知ろう！！

## イノシシの生態について

- 寿命：5～10年
- 発情期：12～2月
- 妊娠期：4～5ヶ月
- 成獣メスは、4～6月に4～5頭を出産し、幼獣（ウリ坊）は、2年で成獣になります。
- 行動範囲は、2～3km<sup>2</sup>で、日没から夜明けにかけて活発に活動します。

## イノシシの特徴について

- 警戒心が強く臆病  
臆病なので、見晴らしのよい明るい場所に出るのが嫌いです。
- ほとんど飛ばない  
鼻で匂いを嗅ぎながらほろく前進して獲物に近づきます。  
※ 20cmの間隙があればくぐり抜けることができます。  
※ 非常事態になったときは、1m以上の柵を跳び越えることがあります。
- 頭がよい  
一時は警戒して近寄らない音や光、匂いも、しばらくで馴れてしまいます。
- 餌の好み  
雑食性で、米や、じゃがいも・さつまいもなどの野菜、田畑の周りのクズの根、石の下のミミズ、人が出した生ごみも食べます。



# イノシシ被害を防ぐために！ ～ 集落ぐるみの対策が効果的～

## まず「イノシシ対策班を組織」

イノシシ被害は、年々拡大しています。まずは、集落内にイノシシ対策班を組織し、被害防止に向けた対策について話し合しましょう。

### ① 「環境整備」

イノシシを集落に近づけない環境をつくろう！

#### ● 餌となるものを取り除く

集落全体で、野菜くずや生ゴミなど、餌となるものをなくしましょう。

#### ● イノシシの隠れ場所をなくす

耕作放棄地や田畑周辺のヤブを刈り払い、見通しをよくしましょう。刈り払えば刈り払うだけ効果があります。

※ 刈り払った草は、必ず片付けましょう。草の下にミミズがわき、逆にイノシシを呼び寄せることとなります。

### ② 「農作物の防護」

田・畑を囲い、イノシシの侵入を防ごう！

#### ● 電気柵の設置

個人が各々の田畑を囲むのではなく、集落ぐるみで広域的に設置しましょう。

#### ● 侵入口等にワイヤーメッシュ柵、トタン板等の設置

電気柵だけでなく、ワイヤーメッシュ柵、トタン板、漁網や防鳥網等も効果があります。

### ③ 「捕獲する」

被害を与えるイノシシを捕獲しよう！

#### ● 捕獲檻等の設置

狩猟期間に、里山周辺で被害を与えるイノシシを捕獲しましょう。

※ 狩猟期間：11月1日～3月31日

ただし、11/1～11/14及び3/1～3/31は、捕獲檻の使用及び捕獲檻にかかったイノシシを止めさしするための銃器の使用に限ります。

被害を軽減するには、集落全体での対策が不可欠です。一人ひとりの意識を高め、上記の手法を組み合わせた対策を、集落ぐるみで取り組みましょう。